

- 11:18 中山乗越通過
- 11:26 行者小屋 雨やけり 霧雨 視界 60m
- 11:30 登
- 12:10 中岳ルネ 着 赤岳 阿弥陀岳 強風にあおられる霧の間に間に顔をみす。
山頂まで氷と岩の急登が続く。
- 12:50 阿弥陀山頂に立つ風強し。なぜか知らぬが日比谷さんと林さんがビョコビョコ飛ぶはねていた。
赤岳は登らず下山する事になった。残念無念
- 13:20 下山 用意
- 13:45 中岳ルネ着 途中 ~~望月~~ 望月さんのチョンボにより頭2つ分くらい大きな岩が川村の尻に当たる。
川村の尻は強かった。
- 14:05 日なたぼっこ休憩。ピンクのジャケットを着た14人の女子パーティーがどろどろと登って行った。
- 14:25 登
- 14:55 幕場着。快晴。赤岳 阿弥陀 大同心 小同心が立体写真のように空にはえている。
- 20:00 消燈。

- 2日 3:20 食当 豊沢 川村起床。20分おくれ。
- 4:10 朝食 ラーメン
- 6:00 体操して 硫黄岳へ go!! 的場は石井さん 坂下さんと共に下山 6人のパーティーとなる。
- 6:43 一本 6時46分登
- 7:55 硫黄山頂に立つ快晴 南・中央・北アルプス見える 我故郷上川の山々も。
- 8:30 登。気分爽快。
- 9:05 夏沢峠で 望月さん オジ打ち time
- 10:20 天狗岳山頂 回復し
- 11:05 登 B.C. パーティーは、西天狗へリセードを11に行く我々は、幕場を取りに先に出る。
これはたいへん賢明な処置であった。
- 12:10 黒百合に着く。もう幕場はいっぱいだ。はたして他のパーティーは強れるのだらうか! 中村さんが
泥の水たまりの中におまえのザックを置いて他のパーティーの場所を取れと言うので石コロと
新聞紙をいれてザックを置く。上智のW.V. が、テントを撤収しているのを見て、望月さん
が場所があくか聞玉に行くと、どうも違うらしい。他の所で上智のW.V. の一年らしい者が、
靴の中に泥がいっぱいにつまっているのを見せせ。せせとテントを張っていた。張り終わる
と上智生が来て言った。「おまえら何やっている、テントは生地の場だぞ。たれがおまえら又人た
けでこんな風に張れと言った。最初からやり直し。撤収!!」嗚呼無惨冷血漢。幕場は
一瞬静まり返った。
- 15:00頃 バックパックの女子精鋭隊 総勢10人くらいのパーティーが歩っていた。